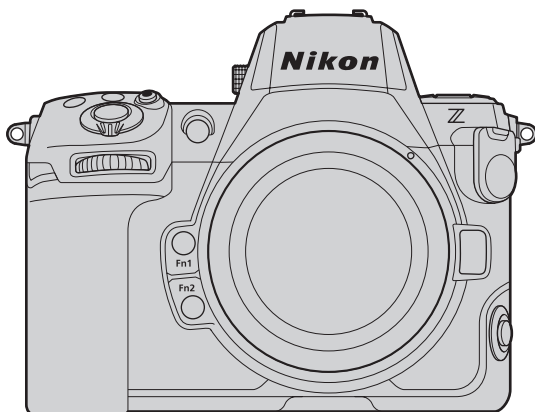
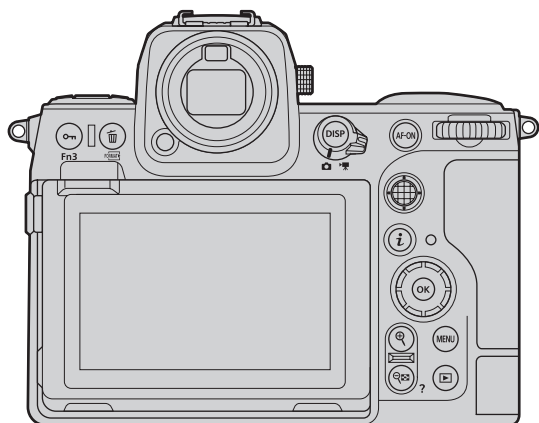


Nikon



Z 8 Professional

テクニカルガイド - HLG 静止画編 -



目次

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| HLG 静止画について | 3 |
| HLG 静止画とは..... | 3 |
| HLG 静止画のメリット..... | 4 |
| HLG 静止画を撮影・編集する | 5 |
| HLG 静止画を撮影するための設定について..... | 5 |
| HLG 静止画をパソコンで表示する..... | 12 |
| NX Studio を使って HLG 静止画を編集（調整）する..... | 18 |
| NX Studio を使ってファイル変換する..... | 25 |
| うまくいかないときは | 35 |
| こんなときは..... | 35 |

HLG 静止画について

HLG 静止画とは

HLG 静止画とは、従来の明るさの幅（ダイナミックレンジ）である SDR（Standard Dynamic Range）の JPEG 画像に比べて、より豊かな階調を表現できる静止画です。Z8 では、RAW 画像（拡張子「.NEF」）と HEIF 画像（拡張子「.HIF」）の 2 種類の HLG 静止画を撮影できます。

ヒント：HLG について

HLG（Hybrid Log Gamma）とは、白飛びや黒つぶれを少なくして静止画全体の階調をより豊かに表現する HDR（High Dynamic Range）規格の方式の一つで、テレビ放送など高画質の映像出力に対応する技術です。

- 標準画質（SDR）の静止画と比べて中間部からハイライト部の輝度の情報量を増加することで、より幅広い映像表現を実現しています。
 - 静止画のシャドウ部から中間部までは輝度の情報量を SDR に合わせることで、HDR 非対応の映像機器と互換性を保っています。
-

HLG 静止画のメリット

HLG 静止画は、SDR に比べて広いダイナミックレンジを表現できます。そのため、実際に肉眼で見たような精緻で豊富な色彩を再現することができます。たとえば、朝焼けや夕焼けなど明るいところと暗いところが同時に写り込むシーンでは、白飛びや黒つぶれを少なくして静止画全体の階調をより豊かに再現できます。また、電飾や太陽光などの強い光を白飛びせずに再現することができます。



SDR



HLG

※ SDR と HLG の違いを視覚的に表現するためのイメージ画像です。実際の画像とは階調が異なります。

HLG 静止画を撮影・編集する

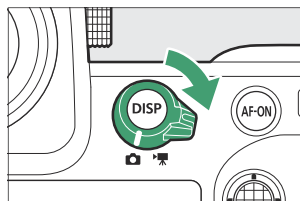
HLG 静止画を撮影するための設定について

階調モードを HLG に設定する

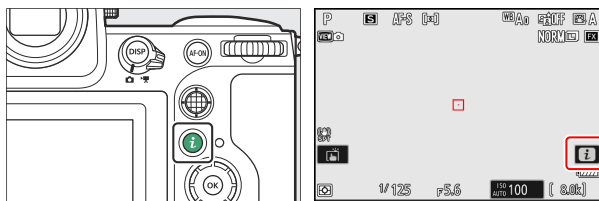
HLG 静止画を撮影するには、階調モードを HLG に設定します。設定方法には、**i** メニューで設定する方法と静止画撮影メニューで設定する方法の 2 つの方法があります。

i メニューで設定する

- 1 静止画/動画セレクターを  に合わせて静止画モードにする



- 2 **i** ボタンを押すか画像モニターの  をタッチして静止画の **i** メニュー画面を表示する



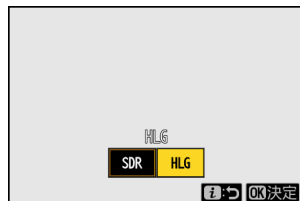
- 3 **[階調モード]** を選んで **OK** ボタンを押す

- 階調モードの選択項目が表示されます。



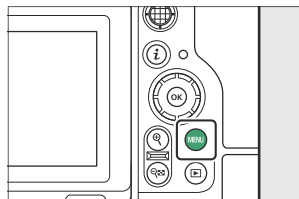
4 [HLG] を選んで **OK** ボタンを押す

- 設定を決定して **i** メニュー画面に戻ります。

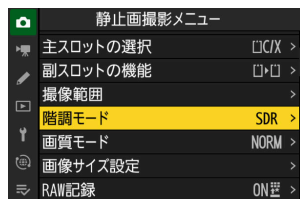


静止画撮影メニューで設定する

1 MENU ボタンを押してメニュー画面を表示する

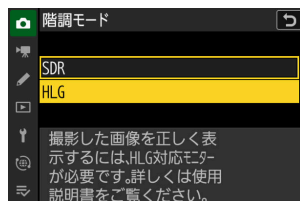


2 タブの **カメラ** アイコンを選んで静止画撮影メニューを表示し、[階調モード] を選んでマルチセレクターの **右** を押す



3 [HLG] を選んで **OK** ボタンを押す

- 設定を決定してメニュー画面に戻ります。

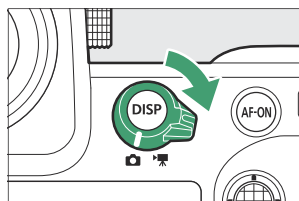


画質モードを設定する

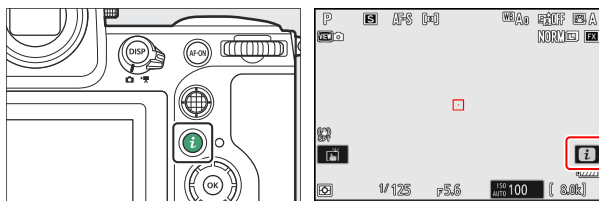
Z 8 では、RAW 画像と HEIF 画像の 2 種類の HLG 静止画を撮影できます。画質モードの設定で、RAW 画像のみまたは HEIF 画像のみを記録するか、RAW 画像と HEIF 画像を同時に記録するかを選べます。設定方法には、**i** メニューで設定する方法と静止画撮影メニューで設定する方法の 2 つの方法があります。

i メニューで設定する

1 静止画/動画セクターを に合わせて静止画モードにする



2 **i** ボタンを押すか画像モニターの をタッチして静止画の **i** メニュー画面を表示する



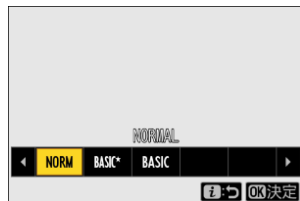
3 [画質モード] を選んで ボタンを押す

- 画質モードの選択項目が表示されます。



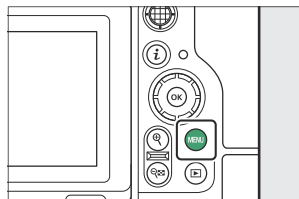
4 任意の項目を選んで **OK** ボタンを押す

- 設定を決定して **i** メニュー画面に戻ります。
- 設定項目については、「画質モードの設定項目について」([図 9](#)) をご覧ください。

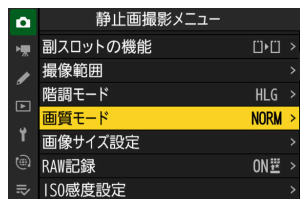


静止画撮影メニューで設定する

1 MENU ボタンを押してメニュー画面を表示する



2 タブの **カメラ** アイコンを選んで静止画撮影メニューを表示し、[画質モード] を選んでマルチセレクターの **右** を押す



3 任意の項目を選んで **OK** ボタンを押す

- 設定を決定してメニュー画面に戻ります。
- 設定項目については、「画質モードの設定項目について」([図 9](#)) をご覧ください。



画質モードの設定項目について

HLG 静止画を撮影する場合、次の画質モードを設定できます。

| 項目 | 内容 |
|---------------|--|
| [RAW+FINE★] | RAW 画像と HEIF 画像を同時に記録します。 <ul style="list-style-type: none">★がある項目は、同時記録する HEIF が画質優先となり、画質の劣化を抑えて圧縮します。★がない項目は、同時記録する HEIF がサイズ優先となり、ファイルサイズがほぼ一定になるように圧縮します。メモリーカードを 1 枚使用して RAW と HEIF を同時記録した場合、カメラでは HEIF のみ再生されます。メモリーカードを 1 枚使用している場合や、メモリーカードを 2 枚使用していても静止画撮影メニュー [副スロットの機能] が [順次記録] または [バックアップ記録] の場合、RAW と同時記録された HEIF をカメラ上で削除すると、RAW も削除されます。 |
| [RAW+FINE] | |
| [RAW+NORMAL★] | |
| [RAW+NORMAL] | |
| [RAW+BASIC★] | |
| [RAW+BASIC] | |
| [RAW] | RAW 画像を記録します。 |
| [FINE★] | HEIF 画像を記録します。画質は高い順に FINE、NORMAL、BASIC です。 <ul style="list-style-type: none">★がある項目は画質優先となり、画質の劣化を抑えて圧縮します。★がない項目はサイズ優先となり、ファイルサイズがほぼ一定になるように圧縮します。 |
| [FINE] | |
| [NORMAL★] | |
| [NORMAL] | |
| [BASIC★] | |
| [BASIC] | |

✓ HLG 静止画の撮影について

- 階調モードを HLG に設定すると、SDR に比べて撮影画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が目立ちやすくなります。
- オートフォーカス使用時に、被写体の検出性能が低下することがあります。
- 静止画撮影メニュー [ISO 感度設定] > [制御上限感度] で設定できる下限は ISO800 になります。
- 高感度（Hi 0.3 ～ Hi 2.0）は設定できません。
- タイムラプス動画のファイル形式は [H.265 10-bit (MOV)] に固定されます。
- 静止画撮影メニュー [色空間] は「BT.2100」に固定されます。
- 静止画撮影メニュー [アクティブ D-ライティング]、[多重露出]、[HDR 合成] は設定できません。
- レリーズモードの [C30]、[C60]、および [C120]、カスタムメニュー d3 [プリキャプチャー記録設定] は設定できません。
- 静止画撮影メニュー [画像サイズ設定] > [画像サイズ] で [サイズ L] を選んでいる場合、連続撮影可能コマ数は減少します。

✓ HLG 静止画についてのご注意

- 階調モードを HLG に設定して撮影した静止画は次のような制限があります。
 - HLG 静止画は画像合成できません。再生時の *i* メニュー [画像編集] で画像合成を選んでも画像選択画面に表示されません。
 - HLG 静止画は SnapBridge アプリを使用してスマートフォンに転送できますが、SnapBridge アプリ上では表示されません。
- 階調モードを HLG に設定して撮影した静止画は、HDR 非対応のモニターを使用している場合、適切な階調では表示されません。

✓ 階調モード HLG 設定時のカメラの画像モニター/ファインダーの表示について

階調モードを HLG に設定すると、カメラの撮影画面または再生画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生したり、高彩度やハイライトの再現性が低下したりする場合があります。また、撮影した静止画をカメラの画像モニターまたはファインダーで 1 コマ表示すると、表示中の静止画に階調段差が生じる場合がありますが、撮影した静止画には影響ありません。適切な階調を確認するには、HDR に対応したモニター、パソコン、OS、アプリケーションなどをご使用ください。

ヒント : HLG 静止画の編集について

- Z8 では、再生時の **i** メニュー [画像編集] で HLG 静止画の編集ができます。編集可能な項目は次の通りです。
 - RAW 現像 (表示画像) (RAW 画像のみ可能)
 - RAW 現像 (複数画像) (RAW 画像のみ可能)
 - トリミング
 - リサイズ (表示画像)
 - リサイズ (複数画像)
 - D-ライティング
 - 傾き補正
 - ゆがみ補正
 - アオリ効果
 - モノトーン
- ニコンソフトウェア NX Studio でも HLG 静止画の編集 (調整) が可能です。画像のファイル形式によって調整可能な項目が異なります。詳しくは、「NX Studio を使って HLG 静止画を編集 (調整) する」([📖 18](#)) をご覧ください。

ヒント : RAW 画像の変換について

- 再生時の **i** メニュー [画像編集] で、階調モードを HLG に設定して撮影した RAW 画像を JPEG 画像または HEIF 画像に変換 (RAW 現像) できます。RAW 現像の際に、露出補正やホワイトバランス、ピクチャーコントロールなどの設定を調整できます。JPEG 画像に変換すると、階調モードを SDR に設定して撮影した RAW 画像を JPEG 画像に現像する場合と比べて、画像にノイズ (ざらつき、むら、すじ) が発生する場合があります。
 - ニコンソフトウェア NX Studio でも RAW 画像の変換が可能です。詳しくは、「NX Studio を使ってファイル変換する」([📖 25](#)) をご覧ください。
-

HLG 静止画をパソコンで表示する

必要なもの

撮影した HLG 静止画をパソコンで適切な階調で表示するためには、次の動作環境が必要です。

Windows をお使いの場合

| | |
|--------|---|
| OS | <ul style="list-style-type: none">• Windows11• Windows10<ul style="list-style-type: none">- Version 1709 以降- 最新版のグラフィックスドライバー（WDDM） |
| GPU | HDR10 対応および PlayReady デジタル著作権管理をサポートしていること |
| モニター | DisplayHDR 1000（推奨） |
| ケーブル | HDMI 2.0a 以降 DisplayPort 1.4 以降 |
| ソフトウェア | NX Studio（最新版をインストールしてください） |

DisplayHDR 1000 未満のモニターについて

DisplayHDR 400/500/600/True Black 400/True Black 500/True Black 600 のモニターをお使いの場合、HLG 静止画を表示すると白とびが発生する場合があります。

●NX Studio について

HLG 静止画をパソコンで表示するには、ニコンソフトウェア NX Studio をインストールする必要があります。NX Studio をインストールすると、ニコン製デジタルカメラで撮影した静止画や動画の閲覧と編集を行うことができます。下記のホームページから NX Studio の最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

✓ コーデックのインストールについて

NX Studio で HLG 静止画を表示するには、対応するコーデック「Imaging Codec 01」が必要です。対応コーデックのインストールは、NX Studio で初めて HEIF 形式（拡張子：hif）の HLG 静止画を表示または選択しようとしたとき、あるいは別の形式に書き出そうとしたときに表示される画面の指示に従って行ってください。

- Imaging Codec 01 のダウンロードには、対応カメラのシリアル番号が必要です。

●パソコンでの設定

パソコンで次の環境設定を行う必要があります。各設定の詳細については Microsoft のホームページをご覧ください。

- システムのディスプレイ設定で HDR を有効にする
- HDR ビデオのストリーミングをオンにする

✓ HLG 静止画を 1 枚表示するときのご注意

HDR/SDR の明るさのバランスを高く設定するとモニター全体が明るくなり、HLG 静止画表示部分とそれ以外の表示部分（SDR 表示部分）の明るさの差異がわかりにくくなります。HLG 静止画を表示するときは、HDR/SDR の明るさのバランスを最低にすると、中間調の明るさが近くなり HDR の効果がわかりやすくなります。

ヒント：モニターの設定について

使用するモニターにより、モニター側の設定が必要な場合があります。詳しくはモニターの説明書を参照してください。

macOS をお使いの場合

| | |
|--------|---|
| モニター | Liquid Retina XDR (搭載の MacBook Pro を含む) または Pro Display XDR |
| ソフトウェア | NX Studio (最新版をインストールしてください) |

✓ 動作環境に記載していないモニターについて

Liquid Retina XDR または Pro Display XDR 以外のモニターで HLG 静止画を表示すると、白とびが発生する場合があります。OS の設定でモニター (ディスプレイ) の輝度を下げると、白とびが低減されることがあります。

●NX Studio について

HLG 静止画をパソコンで表示するには、ニコンソフトウェア NX Studio をインストールする必要があります。NX Studio をインストールすると、ニコン製デジタルカメラで撮影した静止画や動画の閲覧と編集を行うことができます。下記のホームページから NX Studio の最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

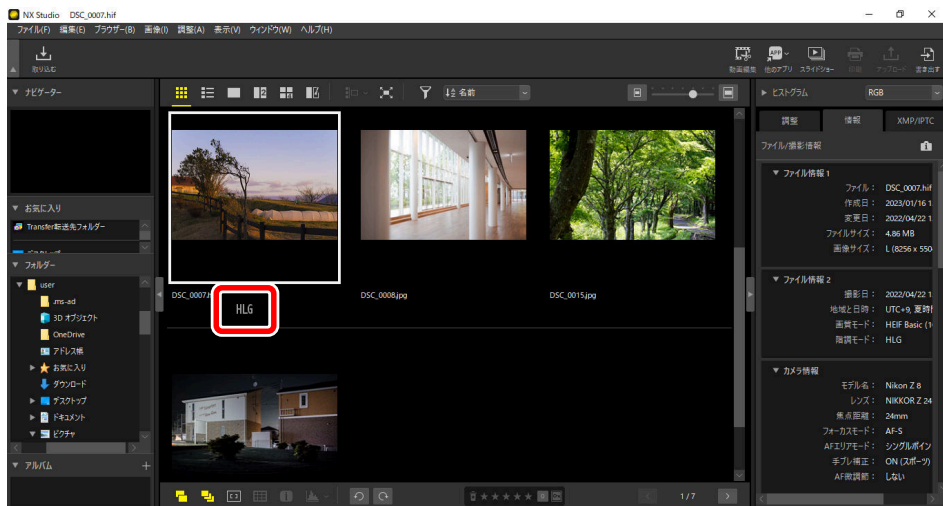
<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

●パソコンでの設定

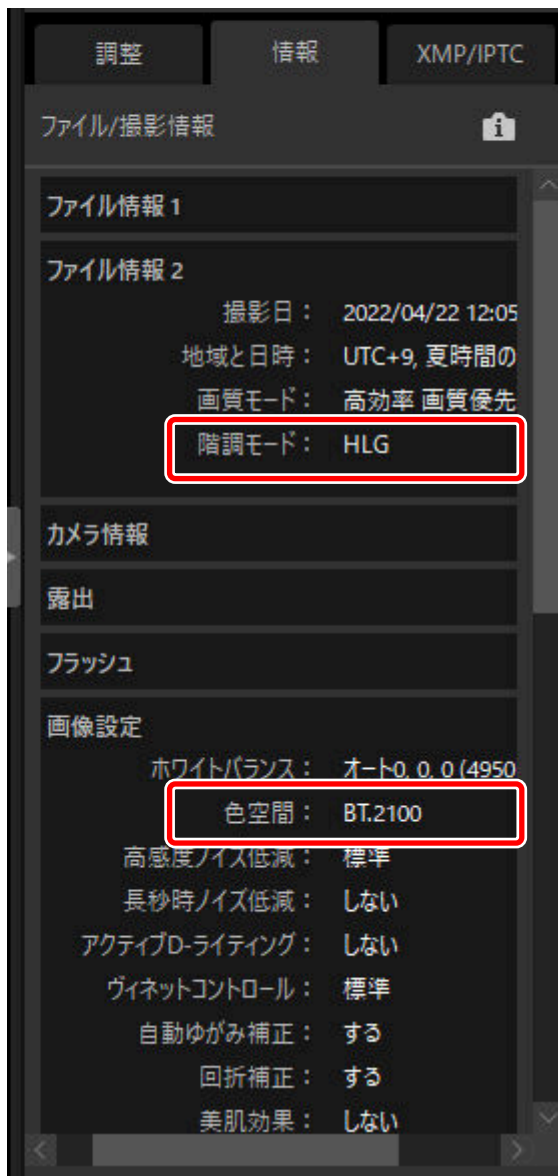
ディスプレイ設定のリファレンスモードを「HDR Video(P3-ST 2084)」に設定する必要があります。設定の詳細については Apple のホームページをご覧ください。

HLG 静止画をパソコンで表示する方法

- NX Studio で HLG 静止画をサムネイル表示すると「HLG」のアイコンが表示されます。

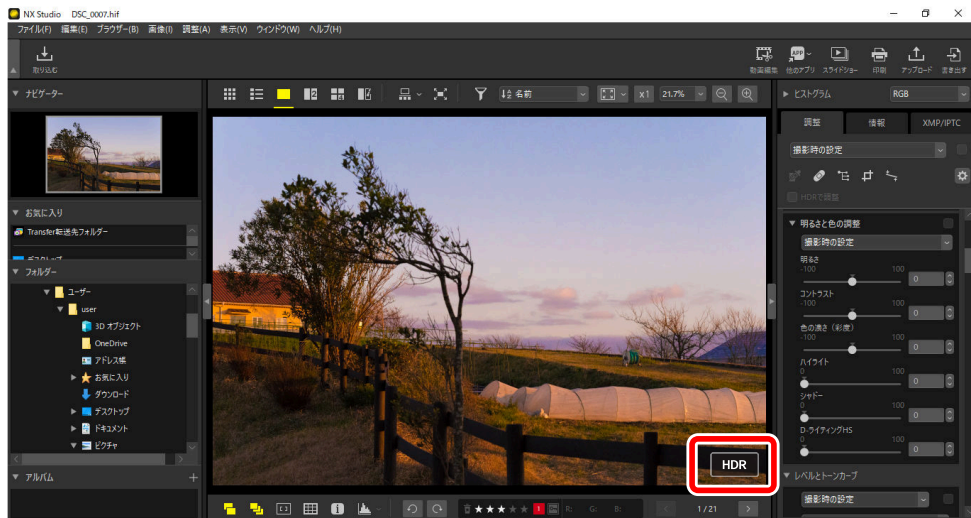


- 情報パレットの [ファイル情報 2] にある階調モードが「HLG」と表示され、また [画像設定] の色空間が「BT.2100」と表示されます。



適切な階調で表示されているか確認する

HDR 対応モニターを使用して NX Studio で HLG 静止画を 1 枚表示すると、画像の右下に「HDR」のアイコンが表示されます。その場合、適切な階調で表示できていることを表しています。



✓ DisplayHDR 1000 未満のモニターについて

Windows で DisplayHDR 1000 未満のモニターをお使いの場合、HLG 静止画を表示すると白とびが発生する場合があります。

NX Studio を使って HLG 静止画を編集（調整）する

NX Studio の調整/情報パレットにある [調整] タブで HLG 静止画を編集（調整）できます。調整できる項目は次の通りです。



【基本的な調整】(RAW 画像のみ調整可能)

- ピクチャーコントロール
- ホワイトバランス
- 露出補正



【レベルとトーンカーブ】

- コントラスト
- 階調レベル (明るさ)
- カラーバランス



【人物に関する調整】(RAW 画像のみ調整可能)

- 肌の補正度合い
- 色相と明るさの設定



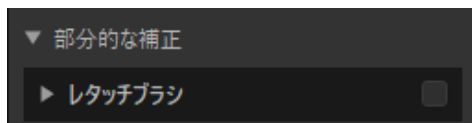
【ディテールの補正】（RAW 画像のみ調整可能）

- 静止画のノイズの補正



【部分的な補正】

- 静止画内のゴミの除去



【構図の補正】

- 静止画の切り抜き
- 角度の調整
- 被写体のゆがみの補正



【カメラとレンズの補正】

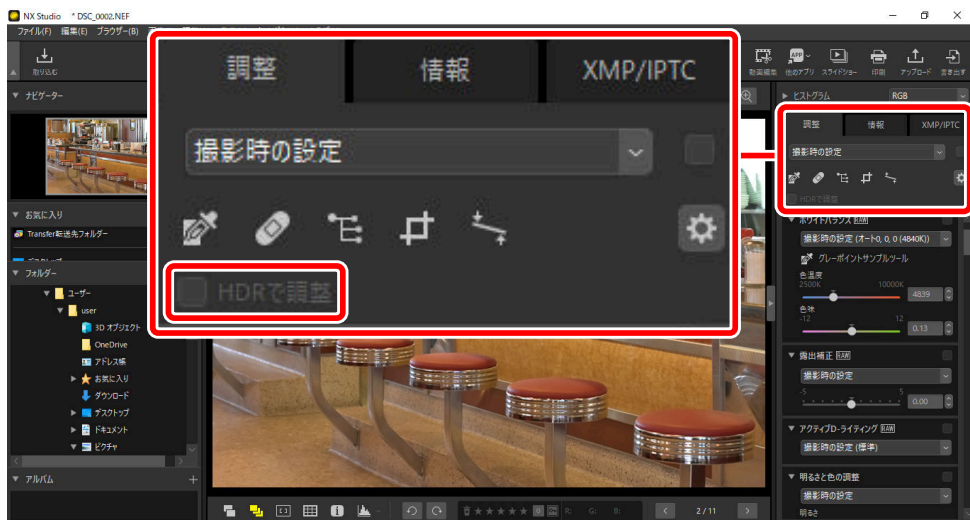
- 倍率色収差補正
- 自動ゆがみ補正
- ヴィネットコントロール
- 回折補正（RAW 画像のみ調整可能）
- フィッシュアイ補正



HLG 静止画を調整するには

[調整] タブの [HDRで調整] にチェックを入れます。チェックを入れると、HDR のダイナミックレンジで静止画を調整します。

- チェックをオフにすると、SDR のダイナミックレンジで静止画を調整します。



ピクチャーコントロール (HLG)

[HDRで調整] にチェックを入れている場合、ピクチャーコントロールは [ピクチャーコントロール (HLG)] で調整します。階調モードを HLG に設定して撮影した RAW 画像のみ調整可能です。

- チェックをオフにすると、ピクチャーコントロールは [ピクチャーコントロール] で調整します。



- ① **カラープロセス**：[カメラ互換] に固定されて選べません。
- ② **ピクチャーコントロール**：静止画に適用したいピクチャーコントロールを選べます。
- ③ **ピクチャーコントロールの微調整**：各項目を微調整できます。同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がりが具合は変化します。
- ④ **[リセット]**：各項目の値を初期値に戻します。

✓ [HDR で調整] 切り換え時のご注意

[HDR で調整] のオンオフを切り換えると、ピクチャーコントロールの微調整内容をすべてリセットします。

- [ピクチャーコントロール (HLG)] を [[HLG SD] スタンダード]、[[HLG MC] モノクローム]、[[HLG FL] フラット] に設定している場合に [HDR で調整] をオフにすると、[ピクチャーコントロール] の [スタンダード]、[モノクローム]、[フラット] に切り替わります。

ピクチャーコントロール (HLG) の微調整について

各項目の値を変更して調整を行います。表示される項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。

[クイックシャープ]

静止画のシャープさを調整する [輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] の各項目がバランスよく調整されます。各項目を個別に調整することも可能です。

- [輪郭強調]：静止画の精緻な部分や、被写体の輪郭部分のシャープさを調整します。
- [ミドルレンジシャープ]：[輪郭強調] と [明瞭度] の中間の細かさの模様や線に対してシャープさを調整します。
- [明瞭度]：静止画の階調や明るさを維持しながら、静止画全体や太めの線のシャープさを調整します。

[コントラスト]

静止画のコントラストを調整します。- 側にすると軟らかい調子の静止画になり、+ 側にすると硬い調子の静止画になります。

[ハイライト]

静止画の明るい部分 (ハイライト) を調整できます。値が大きいほど明るくなります。

[シャドー]

静止画の暗い部分 (シャドー) を調整できます。値が大きいほど明るくなります。

【色の濃さ（彩度）】

静止画の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。-側になると鮮やかさが抑えられ、+側になるとより鮮やかになります。

【色合い（色相）】

静止画の色合いを調整できます。

【フィルター効果】

白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。ピクチャーコントロールが **[[HLG MC] モノクローム]** の場合のみ調整できます。

【調色】

印画紙を調色したときのように、静止画全体の色調を調整できます。ピクチャーコントロールが **[[HLG MC] モノクローム]** の場合のみ調整できます。

【色の濃淡を調整】

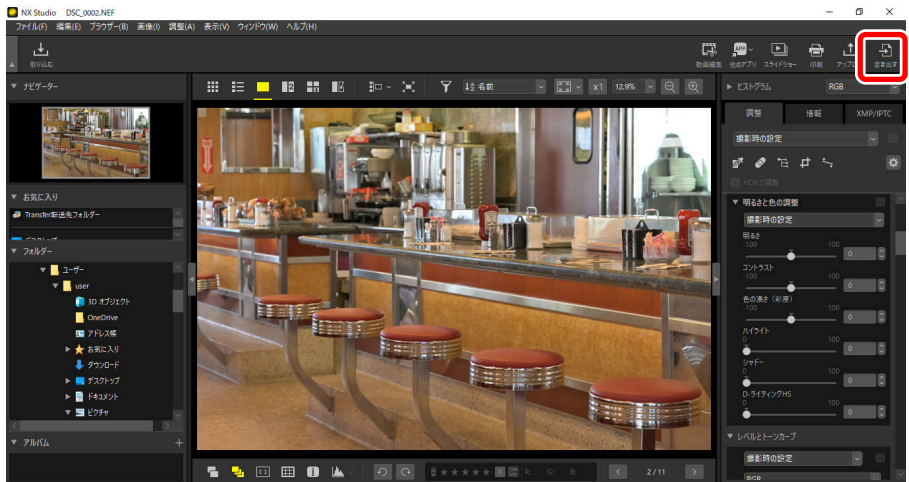
【調色】 で選んだ色の濃淡を選べます。ピクチャーコントロールが **[[HLG MC] モノクローム]** の場合のみ調整できます。ただし、**【調色】** の設定が **[B&W]** の場合は調整できません。

NX Studio を使ってファイル変換する

NX Studio では、階調モードを HLG に設定して撮影した静止画を、JPEG/HEIF/TIFF のいずれかの形式に変換して、別ファイルとして書き出せます。RAW 画像や HEIF 画像を JPEG 形式または TIFF 形式に変換することで、RAW 画像や HEIF 画像に対応していない他社製のソフトウェアでも表示や編集ができます。フォルダー内の画像をまとめて処理することもできます。

ファイル変換の主な手順

1 ツールバーの「書き出す」をクリックする



2 表示された画面で画質や画像サイズなどの設定を行う

- 設定可能な項目については、「ファイル変換の設定項目について」([図 28](#)) をご覧ください。

書き出す

元画像: 選択中の画像

読み込みフォルダー: C:\Users\User\Pictures 参照...

サブフォルダーを含める 処理後、元画像を読み込みフォルダーから削除する

書き出し形式: JPEG ファイル数: 1
合計サイズ(推定): 7 MB

画質: 高画質

解像度 dpi

画像サイズを変更する (元画像サイズ: 6048 x 4024 ピクセル)

長辺: × 短辺: 単位:

撮影情報を削除する

XMP/IPTC情報を削除する

カラープロファイルの追加/削除 追加 削除

保存先: 指定されたフォルダー

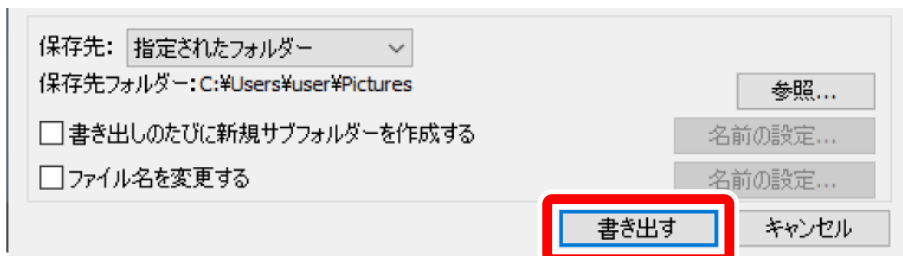
保存先フォルダー: C:\Users\User\Pictures 参照...

書き出しのたびに新規サブフォルダーを作成する 名前を設定...

ファイル名を変更する 名前を設定...

書き出す キャンセル

3 「書き出す」をクリックする



- 変換された画像が指定したフォルダーに保存されます。

RAW ファイルの書き出しについて

RAW 画像を他の形式に変換する場合に **「書き出す」** を使用します。RAW 画像をそのままのファイル形式で保存したい場合、**「ファイル」** メニューの **「保存」** または **「別名で保存」** で行ってください。画像の保存方法については **「環境設定」** の **「保存」** もご覧ください。

ファイル変換の設定項目について

次の項目を設定できます。

[元画像]

書き出す画像やフォルダーを選べます。

- **[選択中の画像]** : 選んでいる画像を書き出します。
- **[指定されたフォルダー]** : 選んだフォルダーにある画像すべてを書き出します。[参照] をクリックしてフォルダーを選べます。
 - **[サブフォルダーを含める]** : チェックを入れると、サブフォルダーにある画像も書き出します。
 - **[処理後、元画像を読み込みフォルダーから削除する]** : チェックを入れると、書き出し後に元画像がフォルダーから削除されます。

[書き出し形式]

変換して保存するファイルの形式を [JPEG]、[TIFF (8 ビット)]、[TIFF (16 ビット)]、[HEIF (HLG)]、[HEIF (PQ)] から選べます。

- 元画像がサムネイルに「PQ」のアイコンが表示される画像の場合は変換できません。
- **[HEIF (HLG)]** / **[HEIF (PQ)]** は、元画像がサムネイルに「HLG」のアイコンが表示される画像の場合のみ有効です。
- HEIF を選んだ場合、ファイルの合計サイズは表示されません。
- **[画質]** : 変換形式で JPEG または HEIF を選んだときに設定できます。JPEG を選んだ場合、画像の圧縮率をスライダーまたは数値を入力して設定します。HEIF を選んだ場合、Windows では **[最低画質 (最高圧縮)]**、**[低画質]**、**[標準画質]**、**[高画質]**、**[最高画質]** から選べます。macOS では画質設定はできません。
- **[LZW 圧縮を使用する]** : 変換形式で TIFF を選んだときに設定できます。チェックを入れると、LZW アルゴリズムに基づいて、画像データ損失のない圧縮を行います。

LZW 圧縮で保存するときのご注意

TIFF (16 ビット) 形式ファイルを LZW 圧縮で保存した場合、元のサイズより大きくなる場合があります。

[HEIF (HLG)] および [HEIF (PQ)] について

[書き出し形式] で **[HEIF (HLG)]** を選ぶと HLG 方式の HEIF 画像に、**[HEIF (PQ)]** を選ぶと PQ (Perceptual Quantization) 方式の HEIF 画像に変換します。

- HLG 方式と PQ 方式はどちらも HDR 規格の方式ですが、次のように異なります。
 - HLG 方式 : 輝度を相対値で扱うため、表示する機器にあわせて輝度が変動
 - PQ 方式 : 輝度を絶対値で扱うため、表示する機器によらず常に一定の輝度での表示が可能
- **[HEIF (PQ)]** を選んでサムネイルに「PQ」のアイコンが表示される画像に変換すると、NX Studio では調整できなくなります。

【解像度】

チェックを入れると、画像の解像度を変更できます。

【画像サイズを変更する】

チェックを入れると、画像サイズを拡大縮小できます。[長辺] のテキストボックスにサイズを入力すると、縦横比を保ったまま [短辺] の数値が変更されます。単位は [ピクセル]、[インチ] または [センチ] から選べます。

【撮影情報を削除する】

チェックを入れると、画像に保存している撮影情報を削除します。

【XMP/IPTC 情報を削除する】

チェックを入れると、画像に設定している XMP/IPTC 情報を削除します。

【カラープロファイルの追加/削除】 ([書き出し形式] で [HEIF (HLG)] / [HEIF (PQ)] を選んだ場合は表示されません)

チェックを入れると、カラープロファイルの [追加] または [削除] を選べます。[追加] を選んだ場合、追加するカラープロファイルは [環境設定] の [カラーマネージメント] の設定によって異なります。[カラーマネージメント] で設定できるカラープロファイルは次の通りです。

- [画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] にチェックを入れている場合、[標準 RGB 色空間] (Windows) または、[RGB デフォルト] (macOS) で設定したカラープロファイルを追加します。
- [画像変換を行う場合、sRGB にプロファイル変換する] にチェックを入れている場合、カラープロファイルを sRGB で追加します。
- 両方にチェックを入れている場合、カラープロファイルを sRGB で追加します。
- 両方にチェックを入れていない場合、元画像のカラープロファイルを使用します。

【保存先】

変換した画像を保存するフォルダーを選べます。

- [元ファイルと同じフォルダー] : 変換した画像を元画像と同じフォルダーに保存します。
- [指定されたフォルダー] : 変換した画像を選んだフォルダーに保存します。[参照] をクリックして保存先を選びます。
 - [書き出しのたびに新規サブフォルダーを作成する] : チェックを入れると、選んだフォルダーに自動でサブフォルダーを作成して画像を保存します。[名前の設定] をクリックすると、プレフィックスやサフィックス、開始番号などの設定が行えます。

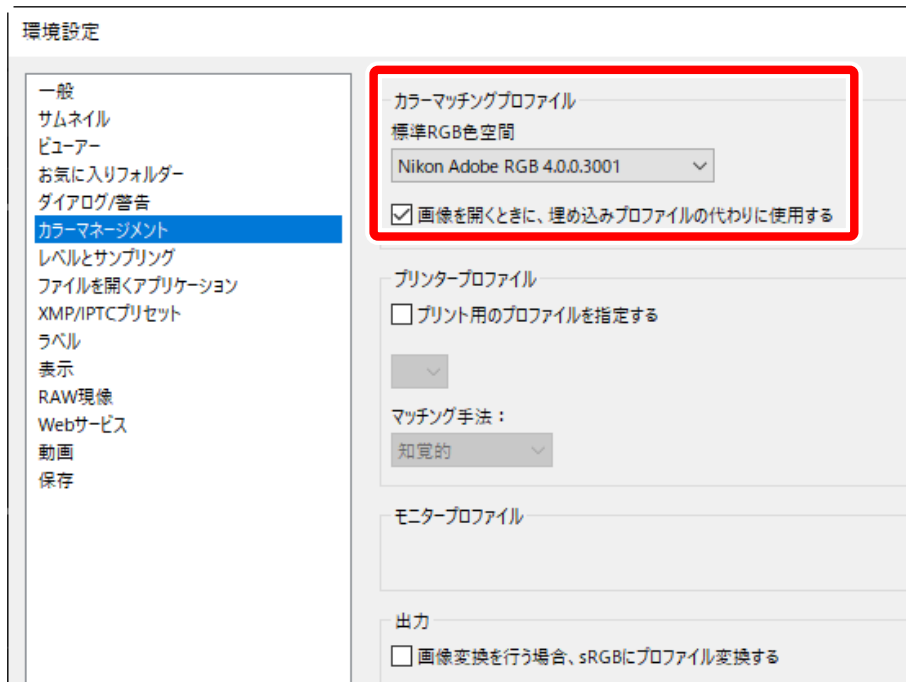
【ファイル名を変更する】

変換した画像のファイル名を設定できます。[名前の設定] をクリックすると、プレフィックスやサフィックス、開始番号などの設定が行えます。

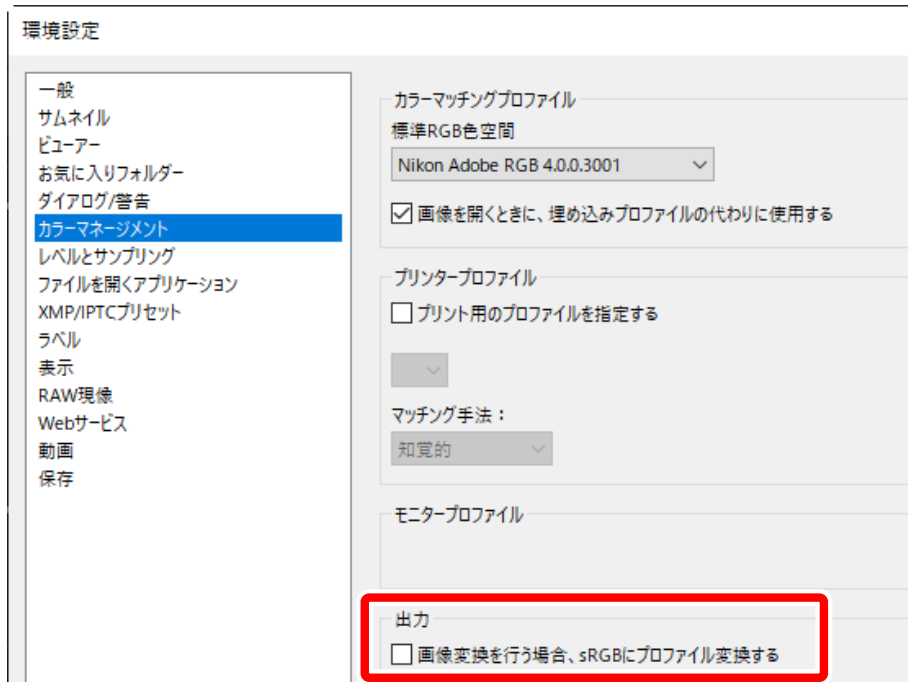
画像の色空間を sRGB 以外に変換して書き出す

sRGB の設定で撮影した RAW 画像の色空間を別の色空間に変換して保存できます。ただし、階調モードを HLG に設定して撮影した RAW 画像は、環境設定や書き出しの色空間設定にかかわらず色空間が BT.2100 に固定されます。

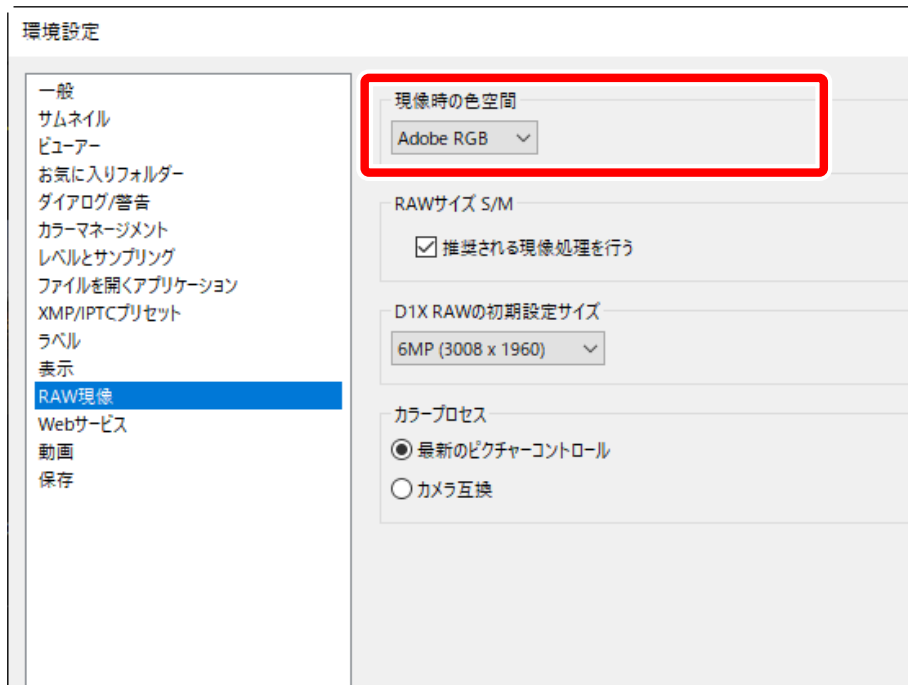
- 1 [環境設定] の [カラーマネージメント] にある [カラーマッピングプロファイル] を任意の色空間に設定し、[画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] にチェックを入れる



2 [カラーマネージメント] の [出力] にある [画像変換を行う場合、sRGB にプロファイル変換する] のチェックを外す



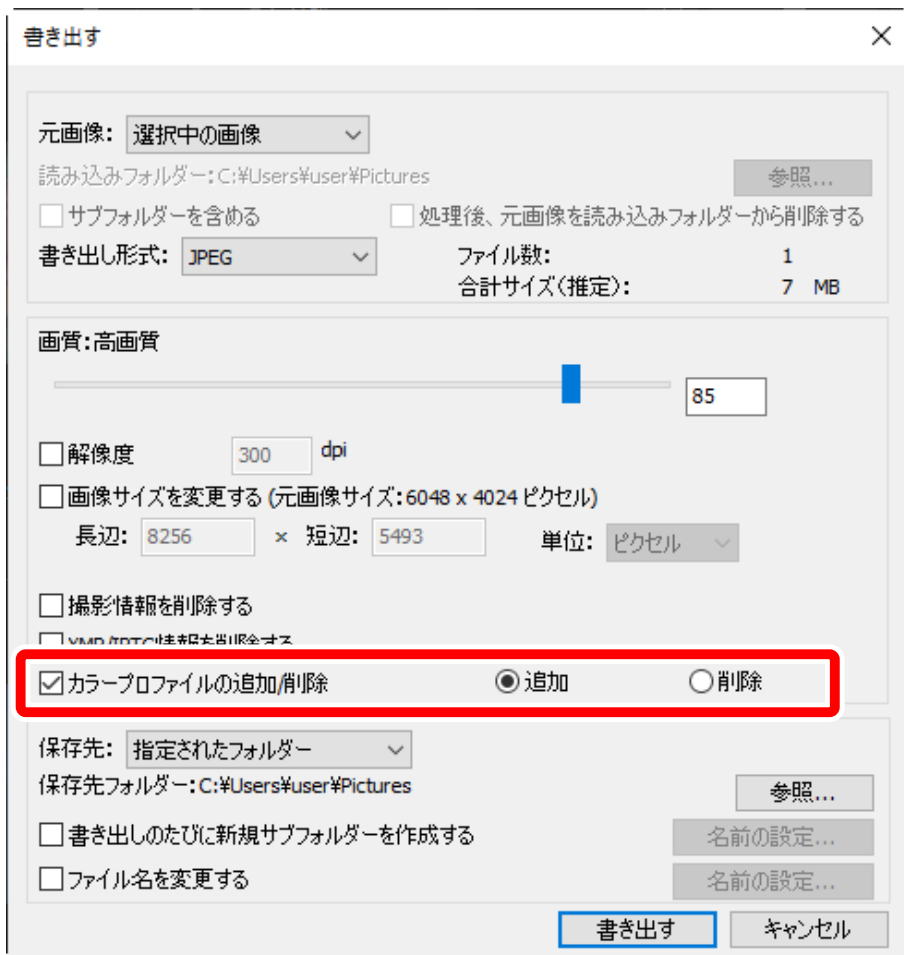
3 [環境設定] の [RAW 現像] にある [現像時の色空間] を任意の色空間に設定する



ヒント：現像時の色空間について

現像時の色空間は、カメラの **i** ボタンでも確認できます。

4 [書き出す] の [カラープロファイルの追加 / 削除] にチェックを入れて [追加] を選ぶ



5 [書き出す] をクリックする

- 設定した色空間に変換された画像が書き出されます。

ヒント：画像の色空間を sRGB に戻すときは

画像の色空間を sRGB に戻すときは、次の設定を行います。

- [環境設定] の [RAW 現像] にある [現像時の色空間] を [sRGB] に設定します。
 - [カラーマネージメント] の [出力] にある [画像変換を行う場合、sRGB にプロファイル変換する] にチェックを入れます。
 - [環境設定] の [カラーマネージメント] にある [カラーマッチングプロファイル] を [Nikon sRGB 4.0.0.3002] に設定し、[画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] のチェックを外します。
-

うまくいかないときは

こんなときは

- **HLG（HEIF 形式）で撮影した静止画が正しく表示されない**

階調モードを HLG に設定して撮影した静止画を外部機器に出力したりパソコンに保存したりして表示すると、正常に表示されない場合があります。HDR 対応の外部機器やパソコンを使用してください。パソコンで再生する場合、詳しくは下記 URL をご覧ください。

https://onlinemanual.nikonimglib.com/notice/hlg_setting_guide/ja/

- **静止画が HDMI 対応機器で正しく表示されない**

階調モードを HLG に設定して撮影した静止画は、HDR 非対応の外部機器では正しく表示されません。

- **【ピクチャーコントロール】、【ピクチャーコントロール（HLG）】、【アクティブ D-ライティング】、【ヴェネットコントロール】などの効果がパソコンで確認できない**

RAW 画像で記録した場合、当社製ソフトウェア以外では機能しません（2023 年 5 月現在）。RAW 画像の現像は NX Studio をお使いください。

Nikon